

低炭素のモデル地区「エコ学区」事業（平成23～24年度）

1 事業の概要

(1) 目的

家庭・地域からの二酸化炭素排出量の一層の削減を図るため、低炭素社会実現に向けた先進的な取組を、本市の地域活動の中心的な役割を担っている学区で総合的に実施し、モデルとなる学区全体でのライフスタイルの転換や、地域力の向上を図ることを目的とする。

(2) モデル事業の概要

低炭素社会実現に向けた先進的な取組を実践するモデルとなる学区を各区役所・支所に1学区ずつ認定（山科区は全学区）し、2年間にわたり省エネの推進、環境学習や地域実験に積極的に取り組み、地域独自の環境活動を総合的に実施した。

2 平成24年度事業内容

(1) 暮らしの匠とエコ・ライフコミュニティづくり事業

家庭全体の電気消費量を「見える化」するため、参加される家庭に省エネナビを設置し、京エコロジーセンターの環境ボランティアの指導のもとで、省エネ等に関して学習し、意見交換会を開催した。

(2) うちエコ診断事業と省エネ学習会

省エネの専門家である「うちエコ診断員」が、事前のアンケートをもとに各家庭の省エネを戸別診断、各家庭の現状とライフスタイルに応じた二酸化炭素の削減方法を提案した。

(3) 地域実験事業

省エネ省資源の取組やライフスタイルの転換につながるような取組を、地域からの提案を基に実施し、二酸化炭素排出量25%削減に向けた効果と課題を検証した。

学区（区役所・支所）	地域実験事業テーマ
紫竹（北）	衣服の無料交換及びモデル世帯でのエコデーの率先
春日（上京）	世代を超えた「エコ情報」の“かけ橋”
松ヶ崎（左京）	地域でできる里山整備～木材の地産地消を目指して～
朱雀第四（中京）	グリーンカーテンから育む地域の絆
今熊野（東山）	小学校を拠点とした双方向型エコ講座の開講
山科区（全学区）	学区の身近なエコ活動を見直し広める冊子づくり
有隣（下京）	生ゴミダイエット実践体験
九条（南）	エコクイズと演劇による地域コミュニティでの啓発活動
梅津（右京）	「食」をとおしたCO2ダイエット

学区（区役所・支所）	地域実験事業テーマ
松尾（西京）	「エコ」と「防災」で考えるライフスタイル
境谷（洛西）	「ホットお助け プロジェクト」省エネグッズ実践体験
下鳥羽（伏見）	下鳥羽発！エコドライブと公共交通利用の促進
藤城（深草）	マイカー利用抑制に向けた乗合自動車運行実験
春日野（醍醐）	親子で取り組むエコ体験と学区まっりの有機的連動

（４）モデル事業全体の流れ

認定したエコ学区（全14学区）を4つのタイプに分け、2年間かけて実施した。

ア タイプ① 2学区（春日、今熊野学区）

1年目に地域実験事業，2年目にくらしの匠事業を実施した。

イ タイプ② 5学区（紫竹，梅津，境谷，藤城，春日野学区）

1年目に地域実験事業，2年目にうちエコ診断事業を実施した。

ウ タイプ③ 2学区（九条，松尾学区）

1年目にくらしの匠事業，2年目に地域実験事業を実施した。

エ タイプ④ 5学区（松ヶ崎，朱雀第四，山科区（全13学区），有隣，下鳥羽）

1年目にうちエコ診断事業，2年目に地域実験事業を実施した。

（５）エコ学区における広報活動

各エコ学区が設置したエコ学区推進協議会が広報誌の発行等による周知を行った。

（６）情報交流会

モデル学区における取組の活性化に向け、平成24年6月30日、情報交流会を開催した。

3 事業実績

	23年度	24年度
くらしの匠事業	2学区実施 (10グループ・146世帯)	2学区実施 (9グループ・118世帯) (ミニ講座32名, バスツアー18名参加)
うちエコ診断事業	5学区実施 (303世帯・10学習会)	5学区実施 (322世帯・10学習会)
地域実験事業	7学区実施	7学区実施

その他、各学区が独自に、エコイベントの開催等を行っている。